

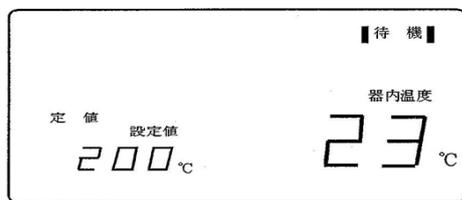
パーフェクトオープンシリーズ (xx1タイプ)

Q: 停電復帰動作設定を教えてください。

【型式】PH-101, PH-201, PH-301, PH-401, PHH-101, PHH-201, PHH-301, PHH-401,
SPH-101, SPH-201, SPH-301, SPH-401, SPHH-101, SPHH-201, SPHH-301, SPHH-401,
IPH-201, IPHH-201, GPH-101, GPH-201, GPHH-101, GPHH-201,
STPH-101, STPH-201, SSPH-101, SSPH-201, PV-211, PV-221, PV-231, PV-331,
PVH-211, PVH-221, PVH-231, PVH-331

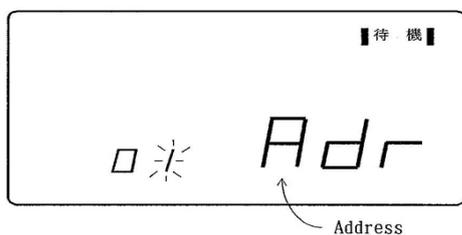
A: 次の通りです。下記はユーザーズマニュアルの抜粋です。

- ① 定値運転モードの器内温度モニタ画面にして、◀▶キーを同時に3秒間押します。環境設定モードになります。

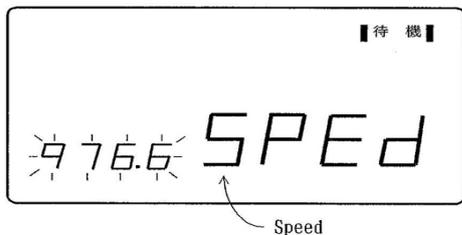


器内温度モニタ画面

- ② E-BUSを利用する場合、E-BUSアドレスを設定します。
カーソルキーで希望するアドレス値を設定します。設定範囲はOFF, 1~31です。E-BUSを利用しないときは、いずれの数値でも問題はありません。
設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



- ③ E-BUSを利用する場合、E-BUSボーレートを設定します。
アップダウンキーで976.6bpsか4800bpsかを選択します。E-BUSを利用しないときは、いずれの数値でも問題はありません。
設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



・ E-BUSアドレスは、工場出荷時
"1" に設定されています。
・ "OFF" は、E-BUS通信がOFFの状
態です。

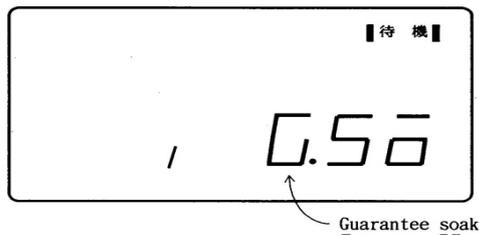
・ E-BUSボーレートは、工場出荷
976.6bps に設定されてい
ます。

④ ギャランティーソーク機能の設定をします。

アップダウンキーでギャランティーソーク機能を選択します。

- 0 : ギャランティーソーク機能無効
- 1 : ギャランティーソーク機能有効 (プログラムの全ステップでギャランティーソーク機能がONとなります。)
- 2 : ギャランティーソーク機能有効 (プログラムの各ステップ毎にギャランティーソーク機能のONまたはOFFを設定できます。)

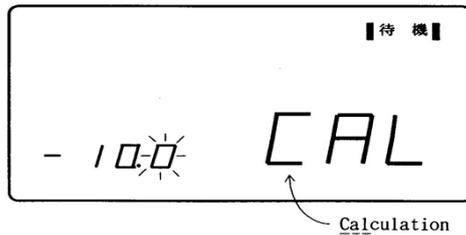
設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



⑤ 補正温度を設定します。

カーソルキーで、補正温度を設定します。-10.0~10.0℃までの範囲で設定可能です。たとえば、温度測定値 200℃、補正温度1.0℃の場合、画面には201℃が表示されます。

設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



ギャランティーソーク機能とは、プログラム設定温度から計上する時間を工場出荷時「1」に設定されています。ギャランティーソーク機能の設定と、プログラム動作を設定する項目はスキップ

ランティソーク機能は、内達を槽に到達するまでの時間を調整する機能です。ギャランティーソーク機能は、工場出荷時「1」に設定されています。ギャランティーソーク機能の設定は、「0」または「1」にする設定と、プログラム動作を設定する項目はスキップ

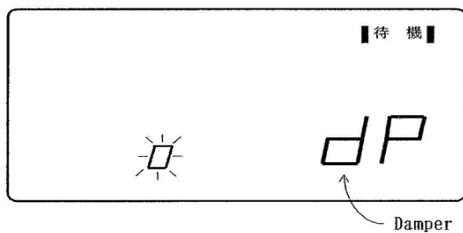
補正温度とは、温度測定値が希望する温度とずれている場合、その温度を補正するための相対温度です。たとえば、温度測定値200℃、補正温度1.0℃の場合、画面には201℃が表示されます。

補正温度は、温度測定値が希望する温度とずれている場合、その温度を補正するための相対温度です。たとえば、温度測定値200℃、補正温度1.0℃の場合、画面には201℃が表示されます。

- ⑥ オプションの「自動ダンパ」を装備している場合、ダンパ機能を設定します。アップダウンキーで、ダンパ機能を選択します。「自動ダンパ」を装備していない場合、設定する必要はありません。

- 0 : ダンパ機能無効
- 1 : ダンパ機能有効 (プログラムの全ステップは、定値で設定されたダンパ動作となります。)
- 2 : ダンパ機能有効 (プログラムの各ステップ毎に、ダンパの動作を設定することができます。)

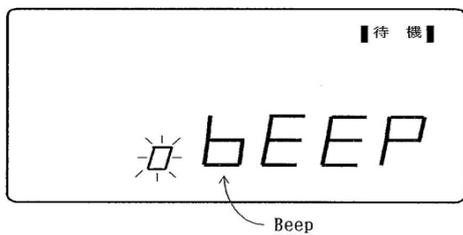
設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



- ⑦ ブザー機能を設定します。アップダウンキーで、ブザー機能を選択します。

- 0 : ブザーOFF (アラーム時もOFF)
- 1 : アラーム時のみ、ブザーON
- 2 : プログラム運転終了時、ブザーON
- 3 : プログラム運転終了時および各ステップ毎の運転完了時、ブザーON

設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



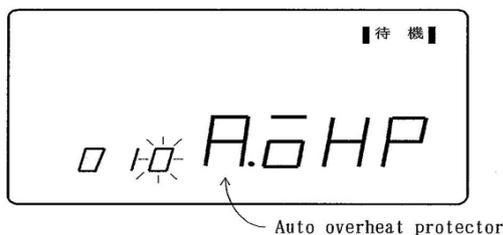
・ダンパ機能は、オプション「自動ダンパ」を装備している場合、工場出荷時「2」に設定されています。それ以外の場合は、「0」に設定されています。
 ・ダンパ機能の設定を「0」または「1」にすると、プログラムの動作を設定する項目は「1」を設定するだけです。定値設定は、動作を設定することができます。

・ブザー機能は、工場出荷時「2」に設定されています。

⑧ 自動温度過昇防止機能を設定します。

カーソルキーで自動温度過昇防止の設定を行ってください。設定範囲は10～49℃またはOFFです。

設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。

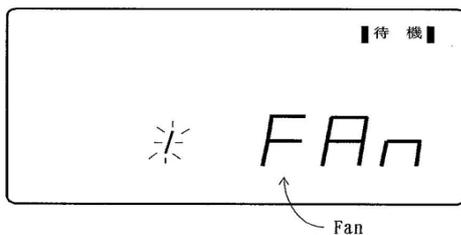


⑨ ファン機能を設定します。

ファン機能とは、器内温度を0℃（温度制御なし）に設定したとき、ファンをONにするか、OFFにするかを選択する機能です。アップダウンキーでファン機能を選択します。

{ 0 : ファン OFF }
{ 1 : ファン ON }

設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。



⚠ 危険

●STPH, SSPH, SPH(H)の場合は、“0 (ファンOFF)”にはしないでください。

高温運転中に急にファンが停止すると、ヒータ部が異常高温になり、本器自体や器内の試料が損傷することがあります。特にSPH(H)では、引火性溶剤を含む試料の場合、爆発の危険性がありますので、ご注意ください。

・自動温度過昇防止機能は、工場出荷時10℃に設定されています。

・ファン機能は、PV(H), PH(H), GP(H), IP(H), (H)LKSの場合、工場出荷時“0”に設定されています。また、STPH, SSPH, SPH(H), PV(H)Cは、“1”に設定されています。

⚠ 必ず実施

⚠ 注意

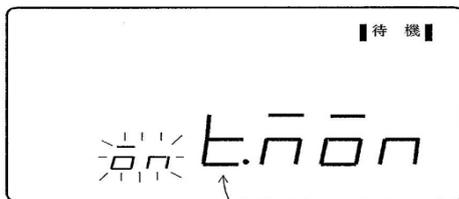
- PV(H)Cの場合は“0 (ファンOFF)”にはしないでください。
ファンが停止すると清浄度が低下します。

⑩ 器内温度表示画面を設定します。

アップダウンキーで器内温度表示画面のありなしを選択します。

- { ON : 器内温度表示のみの画面あり }
- { OFF : 器内温度表示のみの画面なし }

設定が終了したら (次項入力) キーを押してください。

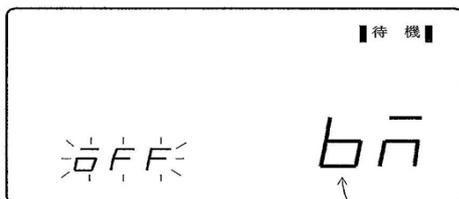


Temperature monitor

⑪ 停電復帰動作を設定をします。

アップダウンキーで停電復帰時の動作の選択を行います。

- { ON : 復電時、停電前の状態が継続する }
- { OFF : 復電時、コントローラの電源がOFFになる }



Boot mode

⑫ 設定が終わりましたので、(運転内容) キーを押してください。器内温度モニタ画面に戻ります。

⑬ E-BUSアドレスおよびボーレートの設定を変更したときは、電源を一旦切らないと変更後の設定が有効になりません。コントローラおよび主電源スイッチをOFFにしてください。

・器内温度表示機能は、工場出荷時“OFF”に設定されています。

・停電復帰動作機能は、工場出荷時“OFF”に設定されています。

・(次項入力) キーを押すと、E-BUSアドレス設定画面に戻ります。